

南足柄市
観光協会

「春めき」巡るバス初運行

見頃の2日間 各所周遊

市の桜を紹介する高橋会長



観光協会は昨年、春木径・幸せ道で、春木径幸

3月上旬から中旬に見頃を迎える春めき。淡いピンク色で、枝の先に花がまとまって咲くため、ボリウム感があるのが特徴。春木径・幸せ道は171本、一ノ堰ハラネは約120本、ふくざわ公園は原木が植栽され、おのおの人気の観光スポットとなっている。

南足柄市で品種登録された桜「春めき」の開花時期に合わせ、南足柄市観光協会（高橋弘子会長）は今年初めて3月15日(土)、16日(日)の2日間、市内を周遊するシャトルバスを運行する。

仕会や商工会と協力して、市のキャラクター「よいしよくん」との記念撮影やキッチンカーなどを設けたイベントを開いた。好評だったものの、公共交通機関での来場者から「ほかの地区の春めきも見たい」との声が多く、今回初めてバスの運行を決定した。

運行ルートは、大雄山駅→一ノ堰ハラネ→ふくざわ公園→道の駅足柄・金太郎のふるさと→辻下グラウンド（春木径・幸せ道）→大雄山駅。午前10時から1日12便が運行する。バスには南足柄市観光ボランティアガイドが乗車する。中学生以上の利用には桜の環境整備を目的とした協力金500円が必要となる。

南足柄市観光協会よりお詫び

3月15日号タウンニュース「春めき巡るバス初運行」の取材の中で春めきを「南足柄市で品種登録された桜」、「ふくざわ公園は原木が植栽され」とお答えしましたが、誤解を招く表現でした。正しくは「南足柄市在住の古屋富雄さんが品種登録した桜」、「ふくざわ公園にも植栽され」です。関係者にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。南足柄市観光協会